

# 交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本

NO, 18

2020年 7月14日

## 「申4号『乗務員勤務制度の見直し』『ライフサイクル』などの施策に関する申し入れ」の交渉を行う。

7月13日、昨年9月26日に東京支社に申し入れた申4号の支社回答・交渉を行いました。 「ライフサイクル」は、2008年から社員を“輸送のプロ”とすべく首都圏の運転士を対象に、一定期間駅業務を担うというものでした。以前の交渉では支社側出席者から施策の成果として「旅客案内が出来るようになった」などという程度のものでした。

「乗務員勤務制度の見直し」は2019年3月ダイヤ改正から運用されました。加えて変革2027やジョブローテーション、乗務員新基地構想など、いまだその“カタチ”は見えてきません。言い換れば私たちと私たちの職場は、大きな波とその力で揺れ動いています。

現実を直視し私たちにとってより良い職場と会社を創造するために仲間たちと歩を進めましょう。



### 《私たちの主張》

- 回答にある「ライフスタイルの充実」とは
- 管理者による職場での説明や日々の会話を充実させることを求める。
- この間の「ライフサイクル」の成果と課題は
- 「ライフサイクル」終了となった、駅要員の“穴埋め”はジョブローテーションで行うのか
- 乗務員新基地構想などの労働組合への提案時期は
- 新型コロナウイルス感染対策によって今後の施策スケジュールに変化はあるのか

### 《支社側の主張》

- 将来への選択肢の拡大は社員にとってプラスである。
- ダイヤ改正に関して各線区で検証し、今後に向けて考えて行きたい。
- ライフサイクル経験者は、駅で学んだことを職場で発信して頂きたい。
- ジョブローテーションでの駅への転勤は、ライフサイクル終了後の要員確保の一つと考えている。
- 提案できるタイミングで労働組合に提案することになる。
- 今後の施策スケジュールは、今のところ乗務員養成含め今年度は変更なし。次年度以降は?です。



あなたはなにに幸せを感じますか？

あなたはいま幸せですか？

あなたは笑顔で過ごしていますか？

あなたはイキイキと仕事していますか？

より良い職場を創造するために、より良い会社を創造するために、そして家族の笑顔のために、職場からもうひと頑張りヨロシクお願いします。